

メジャー&キャリア

Major & Career

メジャー&キャリア

▶ 一覧に戻る

🖨 本文印刷

▶ 中村さん 四回目



<第四回:ときめく授業と人を追いかける>

飯塚 今の中南米地域を担当されているそうですね。

中村 はい、モザンビークに行っていた事もあって、本当はアフリカを担当したかったのですが、とはいえ、中南米に関連する部署に配属になることは、半分は予想していたんです。



飯塚 そうなんですか！

中村 何故かというと…私、フランス語で挫折したんですよ。

飯塚 わたしものです……(笑)

中村 そうなんですか(笑)。

国際協力の分野で文系でご飯を食べていくには、現場経験も修士号だけじゃなくて、第二外国語が必要だと思ったんです。

NGOで行ったモザンビーク・アンゴラがポルトガル語圏だったので、ポルトガル語を独学で勉強したんですね。ポルトガル語で業務や調査をせざるを得ない環境だったので、基本的な会話だとか、英語の授業をポルトガル語で授業をするということには困らないぐらいになったんです。

飯塚　すごい……。

中村　その後、本当はICUIに帰ってからもポルトガル語を学び続けたかったんですけど、ICUIにはポルトガル語の授業はないんですよね。

フランス語を挫折した私は、ポルトガル語に似ているからという理由と、途上国に行ける可能性が広がるかなということで、スペイン語を履修したんですよ。

飯塚　そうだったんですね。

中村　で、履歴書に書ける資格があった方がいいのかなと思って、ポルトガル語とスペイン語の両方を中級まで資格をとって、JICAを受けたんです。

だから、「アフリカに行きたい」とは言っていたんですけど、ポルトガル語とスペイン語の資格を持っている新人が来たら…ねえ(笑)。

一同　(笑)

中村　まあ、中南米関連の部署に配属されますよね(笑)。

でも、国によってJICAがこれまでやってきた援助の歴史とか、失敗や成功とか、学べるものが違うので、今は中南米で援助のことを勉強してから、**いつかはアフリカに帰りたい**なとものすごく思っています。

清水　最後に、今、メジャーを何にしようかと悩んでいる学生に対して、何かアドバイスがあればお願い致します。

今、ICUIはメジャー制に代わって31のメジャーから自分の専門分野を選ぶんですが、学生がメジャーを選ぶ時に、それに関連する仕事に将来就かなければならないと感じたり、自分の将来を考えたらうでメジャー選択をしなければならぬと考える学生が増えているという現状があります。

これが、この同窓会企画を始めたきっかけでもあるのですが……。

中村　そうですね。

学科制だった私の世代では、**専攻と直結した就職先に就いている人って本当に少なかった**と思います。

清水　そうだったんですか。

中村　感覚的には、1割ぐらいかな？

もし私が今のメジャーが選べるICUIにいるとしたら、**本当にそのメジャーでご飯を食べていきたいのかどうか**を、まず考えますね。

清水　ご飯を食べていくというのは、その道のプロになる、ということですか。

中村 そうですね。例えば、私は哲学にもかなり関心があったけれど、本当にその道の研究者になってご飯を食べていく気はありませんでした。

もし、自分の選ぶメジャーでごはんを食べていきたいと思うのであれば、その分野には実際どのような市場があって、職業があって、どれくらい実際に食べていけている人達がいるのか、その人達がどんなキャリアを歩んでそれに至ったのかを調べた方がいいですね。

清水 目指すべき人を見つけるんですね。

中村 そうです。その人を見た時、「そうになりたい！」と思うか、「そこまではできないな」と思うか、が大事です。

そこまで現時点では見つからないというのであれば、逆に将来の事はあまり考えずに、今この瞬間に自分の心がビビビって動かされるとか、逆にこれはつまらないと思うとか、その気持ちを大事にして選ぶと良いんじゃないかなって思っています。

ときめく授業と人を追いかけるといいと思います。大学では、「かっこよく打ちのめされる」「こんな歩み方をしたいな」と憧れる先生方や先輩方に出会って、ビビビとほれ込みんだ授業ばかり取っていました(笑)

清水 (笑)



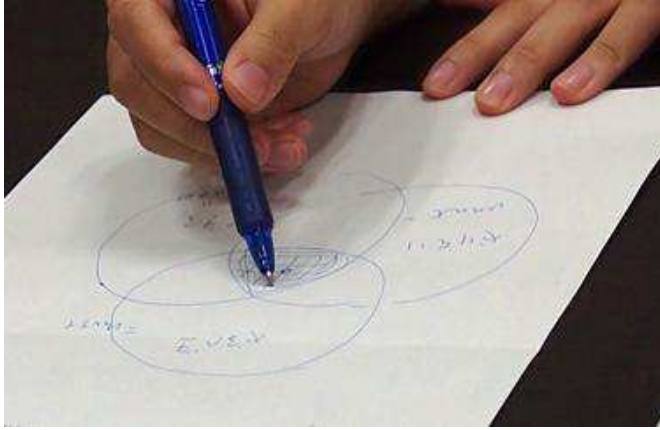
中村 「すごくかっこいい！」と思った方々を追いかけてみたいと思った先に私の進路があって、今の私があります。

「メジャーを選ぶからその後の就職先も考えなきゃ」という考えから一回離れて、その時に何かワクワクする気持ち、これは飽きない、心の底からやるぞ！ってわき上がってくる力みたいなものに正直に従っていったらいいんじゃないかな。

清水 なるほどー。

中村 最近、すごく共感できる図を見つけたんです。

[<と、手元の紙に図を書き始める中村さん>](#)



引用:『自分をいかして生きる』西村佳哲著(157ページ)

中村 自分がやるべき事(must)、できる事(can)、やりたい事(want)の3つの円があるとしたら、**全ての円が重なる**ところが、一番エネルギーをガッツと集中できるはずですよ。

これに出会えたら、社会もハッピーだし、自分もハッピーになれるんだろうな、と思うんです。

「やるべき」という義務感だけではなく、「**自分がやらなきゃ」「うずうずする」、と感じる使命感のようなもの**を感じる時があると思うんです。

自分自身が、お客さん側では無くて、やる側になりたくてたまらない事。そういうものに出会えたら進めばいいし、迷っているのであれば、キャンパスの外に出て、刺激を受けたりするもいいですね。

大学のメジャーも単位も、その縛りに囚わるのではなく、「あ、ちょっといいな」と思う気持ちを大事にしたらいいいのかなと思います。

清水 なるほど、とっても分かりやすかったです。

本日は、貴重なお話をありがとうございました。

<おわります>

<感想は majorandcareer★gmail.com まで>

★を@に置き替えて下さい

もくじ

[第一回 国連に入るには、経済が狙い目？](#)

[第二回 いつか、恩返しできるように](#)

[第三回 人の生活は、分野では区切れない](#)

[第四回 ときめく授業と人を追いかける](#)

